

チャノキイロアザミウマ情報第2号

平成28年5月31日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 発生の状況

黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫の誘殺数は、カンキツ園に設置した南知多町、蒲郡市では多く、ブドウ園に設置した東浦町、豊橋市では平年並となっています（図）。また、誘殺時期が平年よりやや早くなっていると考えられます。

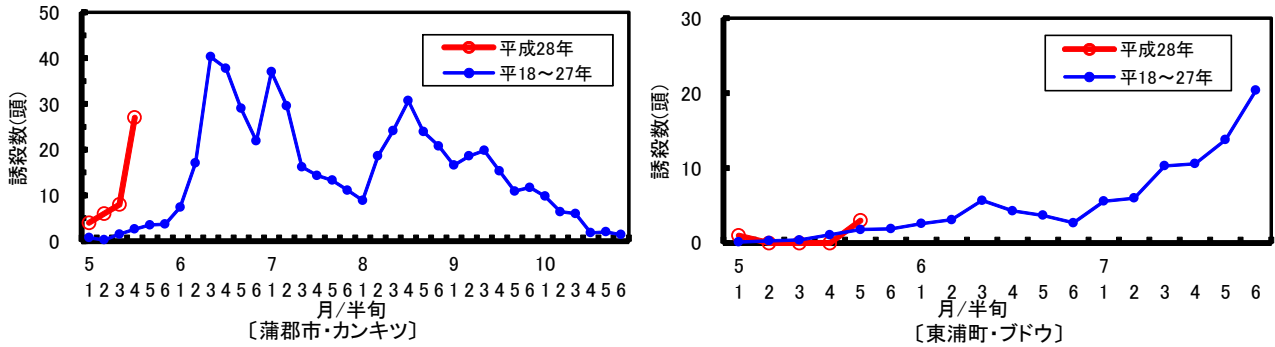


図 黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫誘殺状況

5月下旬に行ったほ場周囲における本種の生息数調査（カンキツ24ほ場及びブドウ12ほ場のイヌマキ（防風垣）10新梢の払い落とし虫数）の結果、カンキツでは7.8頭（平年5.2頭、前年8.2頭）、ブドウでは1.3頭（平年2.0頭、前年1.9頭）で、カンキツはやや多く、ブドウは平年並の発生量でした。

2 発生ピークの予測と防除

成虫の発生ピーク時期が防除適期です。有効積算温度を利用したチャノキイロアザミウマ第2世代成虫の発生ピーク予測日は、中山間部に位置する稲武を除いて6月8日から15日で、豊田を除き前年より2日から4日早いと予測します（表1）。発生の多いほ場では、表1の第2世代成虫発生ピーク時期に表2の薬剤などで防除しましょう。

表1 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

	愛西	南知多	名古屋	豊田	大府	岡崎	蒲郡	豊橋	伊良湖	新城	稲武
第1世代	5/17	5/16	5/12	5/16	5/13	5/16	5/13	5/14	5/14	5/17	6/5
第2世代	6/12	6/14	6/8	6/13	6/9	6/14	6/10	6/12	6/11	6/15	7/6
(前年)	6/15	6/16	6/10	6/13	6/12	6/15	6/14	6/15	6/15	6/18	6/4*
前年差	3日早	2日早	2日早	±0日	3日早	1日早	4日早	3日早	4日早	3日早	1日遅*
第3世代	7/5	7/7	6/30	7/6	7/3	7/6	7/4	7/8	7/5	7/6	7/29

各地のアメダス平均気温から予測。※稲武については、第1世代の前年ピーク日との前年差。5月30日までは実測値を、それ以降は平年値（大府、豊橋は前年値）を用いて計算。前年の第2世代は、前年気温の実測値を用いて計算。

表2 チャノキイロアザミウマの主な防除薬剤

作物	薬剤名
ブドウ	アクタラ顆粒水溶剤
	コルト顆粒水和剤
	ディアナWDG
カキ	コルト顆粒水和剤
	ダントツ水溶剤
	パダンSG水溶剤
カンキツ	アドマイヤー顆粒水和剤
	ディアナWDG
	ハチハチフロアブル

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。